

石巻健育会病院

リハビリテーション部 理学療法士 畠山諒也

功 績 『使命感』『やりがい』をもってリハビリ業務に取り組んだ結果、その熱意・愛情が患者さんに伝わり、退院後にメディアを通して感謝され、病院の認知度向上、部門全体のモチベーション・質の向上に貢献した功績

推 薦 者 伊東 貴広 (理学療法士 / リハビリテーション部 部長)

推 薦 理 由 ①健育会グループが掲げている個人のミッション『やりがい』『使命感』の体現、ホームページに掲載している『あきらめないリハビリ』『オーダーメイドリハビリ』を患者さんに実感してもらった案件であること

②仕事復帰に繋がり、石巻地域最大のメディアにその功績が掲載された事でコロナ禍でなかなか外部発信できない病院でのリハビリの認知度向上につながった事

③自分たちが行ってきたことが評価され、それによって他の職員のモチベーション向上にもつながった事

以上の点から、理事長賞候補に推薦いたします。

内 容

今回入院されたA氏は高校や大学で教鞭をとり、退職後は英語サロン主宰や新聞のコラムニスト、ラジオのパーソナリティなど多方面に活躍されていた方です。

右小脳出血を発症し、当院回復期病棟へ転院。当初はバランス不良、構音障害(呂律不良)が著明でした。

約5ヶ月のリハビリにより、ご本人が望む『歩いて自宅復帰』は達成できましたが、『仕事復帰』に関しては構音障害も若干残存する(英語はまだ難しい)レベルでありました。

ある日、新聞を開くとA氏のコラムが再開されており、第1回目のテーマは『リハビリ』。語源や意味について解説しており、その冒頭に当院でのリハビリに関して記載がありました。

365日リハビリ体制について聞いた所、「回復したい、1日も早くという患者さんがいる限り、休んではいけないのです」とスタッフから話されたとありました。

コラムの結びも親身・真摯に対応した病院スタッフに対する感謝の言葉で締めくくられていました。